

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名 真田地域自治センター

【令和4年度重点目標】

重点目標	スポーツ合宿のメッカ「菅平高原」の再生		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>① 合宿等誘客事業の推進</p> <p>(1) 合宿等誘致促進事業による誘客促進</p> <p>(2) 首都圏大学等訪問によるPR</p> <p>(3) 関係団体と連携した誘客促進</p> <p>② 安全性・快適性の向上を目指したサニアパーク菅平の施設整備</p> <p>(1) 2028年国民スポーツ大会に向けた施設改修等</p> <p>(2) 陸上競技場の第3種公認更新に向けた整備事業の推進</p> <p>③ 菅平高原アリーナの利用促進</p> <p>(1) 利用促進イベント（合宿監督講演会）の開催</p> <p>(2) ホームページ等を活用したPR</p> <p>(3) 利用団体数、使用料収入の対コロナ禍以前比増</p> <p>④ 菅平高原自然館のあり方と利用の検討</p> <p>(1) 菅平高原関係団体とのイベント実施による利用促進</p> <p>(2) 展示品の利活用の検討</p>	<p>①</p> <p>(1) 交付団体：800団体以上（年度内）</p> <p>(2) 訪問：3回（年度内）</p> <p>(3) 市内観光協会誘客促進事業（4事業：年度内）</p> <p>②</p> <p>(1) ・中央競技団体正規視察（7月）</p> <p>・防球ネット改修工事（年度内）</p> <p>(2) 事前指導の実施（年度内）</p> <p>③</p> <p>(1) 開催数：1回（年度内）</p> <p>(2) 利用促進のための情報発信（通年）</p> <p>(3) 利用団体400団体、使用料収入400万円（通年）</p> <p>④</p> <p>(1) 関係団体とのイベント実施（年度内）</p> <p>(2) 関係団体等との意見交換（年度内）</p>	<p>①</p> <p>(1) 交付団体数：897団体（9/16受付分で予算終了）</p> <p>(2) 関東・中部の大型スポーツ店訪問、大学にチラシ郵送</p> <p>(3) 菅平高原観光協会がコロナ禍を踏まえて取り組む誘客促進事業に対し、上田市観光誘客促進事業補助金による支援を実施</p> <p>②</p> <p>(1) 7/12 中央競技団体による正規視察実施</p> <p>9/16 防球ネット改修工事 入札執行・業者決定</p> <p>(2) 6/19 日本陸連指導員による事前指導実施</p> <p>③</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ未実施</p> <p>(2) アリーナをトレーニングで利用いただいている選手の2022オリ・パラでの活躍をホームページで発信</p> <p>(3) 利用団体335団体・使用料収入3,299,660円（9月末現在）</p> <p>④</p> <p>(1) 利用促進にむけ、6月、7月、8月、9月と菅平ナチュラルリストの会によるイベントを開催</p> <p>(2) 6月に地元自治会関係者と協議。自然館の在り方を含めたアンケート調査を実施する方向で調整中</p>
重点目標	市民が主役「心豊かな協働のまちづくり」の推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
2	<p>① 地域づくり委員会との協働によるまちづくり</p> <p>(1) まちづくりに活用できる情報の提供</p> <p>(2) 地域課題の把握と関係課との情報共有</p> <p>(3) 協働推進員及び地域づくり委員会地域担当職員との情報共有と連携</p> <p>② 住民自治組織「真田の郷まちづくり推進会議」のまちづくり計画推進への支援</p> <p>(1) 自治センターだより等を活用した住民への活動の周知</p> <p>(2) 地域づくり委員会から把握した課題等の共有</p> <p>③ メール配信サービスによる行政情報の発信</p> <p>(1) 上田市メール「真田地域の情報」による身近な情報の発信</p> <p>(2) 上田市メール「真田地域の情報」登録促進</p> <p>④ 地域を守る「安心・安全なまちづくり」の推進</p> <p>(1) 緊急時における情報伝達手段の構築への支援</p>	<p>①</p> <p>(1) 委員会等を活用した情報提供（8月末まで）</p> <p>(2) 関係課等への課題の情報提供と対応依頼（年度内）</p> <p>(3) 打合せ会議での情報共有（6月末まで）</p> <p>②</p> <p>(1) 自治センターだより掲載（2回：年度内）</p> <p>(2) 地域課題の情報提供（年度内）</p> <p>③</p> <p>(1) 毎週木曜日（通年）</p> <p>(2) 登録件数：2800（通年）</p> <p>④</p> <p>(1) 防災リーダー研修会（5月）</p> <p>地域づくり委員会（7月）</p>	<p>① コロナ感染予防対策をとりながら31自治会が委員会を開催（7月中）</p> <p>(1) 各課の取組、補助制度などの支援策を情報提供（8月に自治会回覧：36自治会、回覧数490）</p> <p>(2) 地域づくり委員会で話し合われた地域課題や要望等は、庁内各課に対応依頼及び情報共有（8月）</p> <p>(3) 協働推進委員及び地域担当職員による「地域づくり委員会の地域担当者打合せ会議」を開催し、地域づくり施策の情報共有（6/16）</p> <p>② まちづくり推進会議が自治センター内に事務所を移転（4月）</p> <p>(1) 自治センターだより（4月号、9月号）、有線放送を活用（随時）し、独自事業への参加の告知協力や活動状況の周知</p> <p>(2) 地域づくり委員会から寄せられた地域課題や要望等は、庁内関係課の対応を踏まえた情報共有（11月）</p> <p>③</p> <p>(1) 毎週木曜日に上田市メール「真田地域の情報」による身近な情報を発信、また迅速な周知が必要な情報の配信（随時）</p> <p>(2) 防災リーダー会議（5月）で登録周知（9/30現在登録件数：2,912件）</p> <p>④</p> <p>(1) 自主防災組織リーダー研修会（5/26）及び地域づくり委員会（7月中：31自治会）で情報伝達手段の構築への助言を行うとともに先進事例の紹介などの相談支援を随時実施</p>
重点目標	防災・減災対策の推進とインフラ施設の適切な管理		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<p>① 道路・橋梁の長寿命化事業の推進</p> <p>(1) 橋梁長寿命化工事の実施</p> <p>(2) 道路舗装修繕工事の実施</p> <p>② 農業用水路等の長寿命化・防災減災対策</p> <p>(1) 農業用水路の長寿命化修繕工事の実施</p> <p>③ 準用河川の防災減災対策</p> <p>(1) 大沢川整備計画の立案</p> <p>④ インフラ施設の適切な維持管理</p> <p>(1) 道路・河川の定期的なパトロールの実施</p>	<p>①</p> <p>(1) 工事 2箇所（Ⅲ判定 進捗率 5/6）</p> <p>角間1号橋、角間2号橋（4月～3月）</p> <p>(2) 工事 2箇所</p> <p>荒井中原線、横沢角間線（4月～3月）</p> <p>②</p> <p>(1) 工事 2箇所（窪堰）</p> <p>L=320m（進捗率 320/540m 59%）（4月～3月）</p> <p>③</p> <p>(1) 未整備箇所の把握</p> <p>整備手法の検討（4月～3月）</p> <p>④</p> <p>(1) 道路パトロール 週2回以上（4月～3月）</p> <p>河川パトロール 年2回（6月、11月）</p>	<p>①</p> <p>(1) 工事 1箇所発注済、1箇所入札準備中（Ⅲ判定 進捗率 5/6）</p> <p>角間1号橋発注済、角間2号橋入札準備中</p> <p>(2) 工事 2箇所発注済</p> <p>荒井中原線発注済、横沢角間線発注済</p> <p>②</p> <p>(1) 工事1箇所発注済、1箇所入札準備中</p> <p>窪堰1地区（L=44m）発注済、窪堰2地区（L=275m）入札準備中</p> <p>③</p> <p>(1) 未整備箇所の把握</p> <p>整備手法の検討、計画作成業務委託発注準備中</p> <p>④</p> <p>(1) 通行支障箇所の把握及び解消のため、延べ78回（週2～3回）の道路パトロールを実施（9月末）した。</p> <p>併せて、普通河川の現状確認（6月）を行った。</p> <p>引き続き、道路・河川のパトロールを実施し、適切な維持管理に努める。</p>
重点目標	地域の福祉拠点となる社会福祉施設整備の検討		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	<p>① 真田地域の福祉拠点となる施設整備</p> <p>(1) 老朽化した真田総合福祉センターと真田老人福祉センターを統合する整備方針の検討</p> <p>(2) あり方検討会の検討結果に基づき、事業化に向けた関係部局との協議</p>	<p>①</p> <p>(1) 関係部局との協議（3回：年度末）</p> <p>(2) 関係部局との協議（3回：年度末）</p>	<p>①</p> <p>(1) (2)</p> <p>福祉部と協議を行い、今後の福祉施設整備については、現状の利用状況や将来の広い住民利用を目的に、福祉単独及び福祉や高齢者に特化した施設としないこと、また、他の機能や他の公共施設も含めた多目的な施設の検討を行う方向となった。今後、必要とされる機能の検討や公共施設の集約化等、真田地域自治センター内の関係課と再考を進める。</p> <p>・関係部局との協議（3回：5/6、6/3、7/27）</p>